

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

平成30年度都道府県
在宅保健師等会全国連絡会

資料
No.4-2

平成31年1月28日(月)

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成10年度	介護保険時代の地域ケアにおける（在宅）保健婦の役割～新しい生き方を求めて～	記 念	桃山学院大学 社会福祉学部	教授	上野谷 加代子
	介護保険時代に向けて在宅保健婦に期待する	記 念	大阪府立介護実習普及センター	所長	宮崎 準子
平成11年度	当事者から学ぶ～美濃加茂市介護者をささえる会から"デイケアサロン花時計"の発足までと現状～	記 念	デイケアサロン花時計（岐阜県美濃加茂市）	代表者	岸 智津子
	介護保険を目前に控えて	研修①	桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科	教授	坪山 孝
	社会福祉協議会の活動について	研修②	阪南市社会福祉協議会	非常勤保健婦	郡 妙子
平成12年度	高齢者・障害者の権利擁護を考える	記 念	大阪後見支援センター	所長	大國 美智子
	苦情をめぐる対応～システムと苦情のとらえかた～	研修①	北陸学園短期大学	助教授	國光 登志子
平成13年度	高齢者・障害者へのレクリエーション技術を学ぶ	記 念	（財）日本レクリエーション協会	公認レクリエーションコーディネーター	藤坪 璋子
	高齢者の健康づくり	研修①	大阪ガス健康管理センター	所長	岡田 邦夫
	高齢者の健康指導事業に学ぶ	研修②	寝屋川市 保健福祉部 健康増進課	係長	川上 眞理子

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成14年度	高齢者・障害者へのカラーコーディネート～活力ある衣・食・住のイメージカラー～	記 念	(有) ラピス代表取締役	(カラー&イメージコンサルタント)	花岡 ふみよ
	高齢者への人権擁護～早期発見と介入～	研修①	大阪府立看護大学大学院 老年看護学	教授	臼井 キミカ
	薬との上手な付き合い方	研修②	市立泉佐野病院 薬剤科 大阪府国民健康保険診療報酬審査委員会	部長 委員	西山 辰美
平成15年度	ボディトーク～ボディトークは心で受ける～	記 念	ボディトーク協会		加藤 貞子
	高齢者の理解～介護保険から見た高齢者の現状～	研修①	大阪府医師会	理事	古林 光一
	成年後見制度パートⅡ～相談実態から～	研修②	大阪アドボカシー法律事務所	弁護士	池田 直樹
平成16年度	笑い与健康	記 念		ユーモアコンサルタント（芸名：信金亭八光）	矢野 宗宏
	痴呆性高齢者への対応～地域で痴呆性高齢者を支えるために～	研修①	大阪人間科学大学 社会福祉学科	教授	小林 敏子
	高齢者施策新情報	研修①	大阪府 健康福祉部 高齢介護室 介護保険課	参事	福島 俊也
	親子の現状と保健師の役割～大阪レポートから23年後の調査より～	研修②	大阪人間科学大学 社会福祉学科 学科長	教授	原田 正文

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成17年度	メディア情報のウソ・ホント～健康情報のとり方使い方～	記 念	大阪府立健康科学センター	健康開発部長	佐藤 眞一
	今どきの生活習慣病対処法～メタボリックシンドロームに着目して～	研修①	武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学科	教授	内藤 義彦
	親子の健康な生活習慣形成を通した健康な地域づくり～根拠に基づく新しい生活習慣病対策のすすめ方～	研修②	国立保健医療科学院	人材育成部長	水嶋 春朔
	地域・職域の健康課題から保健師活動の展開～メタボリックシンドロームの概念を導入した健診・保健指導の実施について～	研修②	N P O 法人 健康推進プログラムネットワーク	理事	野口 緑
平成18年度	家庭訪問の意義と実際～生活習慣病予防のための家庭訪問の役割と演習～	記 念	和歌山県立医科大学 保健看護学部	教授	山田 和子
	家庭訪問の意義と実際～生活習慣病予防のための家庭訪問の役割と演習 パート2～	研修①	和歌山県立医科大学 保健看護学部	教授	山田 和子
	「障害者自立支援法」と地域自立生活の展開	研修②	東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科	教授	北野 誠一
平成19年度	認知症の予防と在宅支援	記 念	認知症サポートセンター	認知症 コーディネーター	沖野 裕子
	家庭訪問の意義と実際パート3 「特定保健指導に生かす個別保健指導」～スキル向上に向けて～	研修①	和歌山県立医科大学 保健看護学部	教授	山田 和子
	親子関係の理解と支援～アタッチメント（愛着）の視点から～	研修②	四天王寺国際仏教大学 人文社会学部	准教授	北川 恵み

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成20年度	生活習慣病予防対策について	記 念	放送大学 公衆衛生	教授	多田羅 浩三
	「子どもの発達支援」～1歳6ヵ月児健診を中心に～	研修①	子どもの発達支援を考えるS Tの会	代表	中川 信子
	「家庭訪問指導について」～保健師のための保健指導 ハンドブックの活用～	研修②	和歌山県立医科大学 保健看護学部	教授	山田 和子
	「パソコンを利用して自己決定支援のための保健指導」 ①明治乳業健康保険組合のツールについて ②グループワーク	研修②	明治乳業健康保険組合	保健師	多田 由美子
平成21年度	「生活習慣病と家族看護」～家族といっしょに生活習慣を考えよう～	記 念	広島大学大学院 保健学研究科	教授	森山 美和子
	「結果を出す保健指導、その気にさせるアプローチ」 ～自ら筋トレを実践し、望みどおりのカラダづくりに～	研修①	国立大学法人高知大学 医学部 地域医療公衆衛生学	准教授	都竹 茂樹
	「母子保健の動向」大阪の現状と課題について	研修②	大阪府健康医療部 保健医療室 健康づくり課	課長	松下 彰宏
	「こんにちは赤ちゃん事業等、市町村事業について」	研修②	大阪府健康医療部 保健医療室 健康づくり課	母子グループ主査 （保健師）	小田 順子
平成22年度	「今後の地域保健活動に求められる役割」～在宅保健師と市町村保健師に期待されること～	記 念	非特定営利法人 保健福祉サービスサポートセンターみなくち	理事長	堀井 とよみ
	「楽しい健康劇」～一度やったらやめられない～ ビデオ上映「老後をいきいき生きよう」	研修①	兵庫県在宅保健師の会		池脇 政子
	「避けては通れない介護とどう向き合うか」	研修②	社会福祉法人 緑成会	特別参与	野原 すみれ

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成23年度	「認知症診療とケア」～診断に基づく診療の最新動向と良質なケアに向けて地域連携へ～	記 念	大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室	講師	数井 裕光
	「生活習慣病のエビデンス」～高血圧について～	研修①	慶應義塾大学 医学部 衛生学 公衆衛生学	教授	岡村 智教
	「生活の中に取り込める運動を身につけよう」～楽しく運動をしよう～ 講義「運動の効用で生活習慣病を予防」 実技「楽しく運動習慣を身につけよう」	研修②	N P O 法人日本健康運動指導士会	理事	黒田 恵美子
平成24年度	「脂質異常症の病態及び最近の治療・保健指導」	記 念	大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体情報科学講座 心血管代謝学研究室	教授	木原 進士
	「その気にさせる運動指導の実際」（講義・実技）～行動変容につなげるスキルをみがく～	研修①	熊本大学政策創造研究教育センター	教授（医師）	都竹 茂樹
	「特定保健指導技術向上研修」「効果的な特定保健指導」～行動変容につなげるスキルをみがく～ 演習・グループワーク「実際の事例を活用して戦略的データの読み方など演習」	研修②	（元長野県国民健康保険団体連合会 保健事業専門員）	保健師	水上 きみ子
平成25年度	「ヘルスプロモーションとソーシャルキャピタルの運動」～ひとり一人の健康づくりの支援と支援環境を整備する～	記 念	首都大学東京大学院 都市環境学部・都市システム科学	教授	星 旦二
	「ロコモティブシンドロームの背景・要因、予防と対策」～運動機能、認知機能の低下を早く見つけよう～（講義・実技）	研修①	京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻	准教授	青山 朋樹
	「自律神経と健康な生活」（講義）～加齢に伴う自律神経のアンバランスを予防するには～	研修②	福島県立医科大学 医学部 疫学講座	教授	大平 哲也

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成26年度	「保健師力に期待するもの」～生活習慣病を例として～	記 念	大阪大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学	教授	磯 博康
	「良い睡眠でからだもこころも健康に」～睡眠と生活習慣病～	研修①	滋賀医科大学 睡眠学講座	特任教授	宮崎 総一郎
	「今からでも遅くない！メタボとロコモを予防しよう！」（講義・実技）	研修②	畿央大学 健康科学部 理学療法学科	助教	松本 大輔
平成27年度	「生活習慣病予防対策の費用対効果」～保健事業の効果的な取り組みから～	記 念	山梨大学大学院 総合研究部 医学域基礎医学系 社会医学講座	教授	山縣 然太郎
	「運動が『うつ』の予防・改善に役立つ仕組みを解く」	研修①	大阪大学大学院 医学系研究科 神経細胞生物学講座	助教	近藤 誠
	「効果のある体力作り～インターバル速歩とは～」（講義・実技）	研修②	関西大学 人間健康学部・大学院 人間健康研究科	教授	河端 隆志
平成28年度	「住民の幸せな暮らしを求めて」～公衆衛生の中で、今保健師が果たす役割～	記 念	関西大学 社会安全学部	教授	高鳥毛 敏雄
	第1部「患者本位の医薬分業の実現に向けて」	研修①	大阪府 健康医療部 薬務課	総括主査	岡本 智子
	第2部「かかりつけ薬剤師・薬局との連携」～適切な服薬支援をするために～	研修①	一般財団法人 大阪府薬剤師会	常務理事	道明 雅代
	「時間栄養学を取り入れた生活習慣病予防」	研修②	名古屋大学大学院 生命農学研究科	准教授	小田 裕昭

大阪府在宅保健師の会 記念講演・研修内容一覧

年 度	記念講演・研修内容	記念/研修	講 師		
			所 属	役職（職種）	氏 名
平成29年度	「社会構造の変化と保健師活動」～時代とともに変わったこと、変えてはいけないこと～	記 念	（株）日本総合研究所	主席研究員	藻谷 浩介
	「口腔疾患と全身疾患の予防～特に歯周病について～」	研修①	国立長寿医療研究センター 口腔疾患研究部	部長	松下 健二
	「運動を取り入れた生活習慣改善」～その気にさせる運動指導～（講義・実技）	研修②	藍野大学 医療保健学部 理学療法学科	助教	本田 寛人
平成30年度	「平成30年度からの保健事業を取り巻く国の動き」	記 念	国民健康保険中央会	常務理事	飯山 幸雄
	設立20周年記念 「人生100年時代をいかに生きるか」～人生を豊かに送るために笑いを取り入れた過ごし方について～	記 念	日本笑いヨガ協会	代表	高田 佳子
	「血圧についての基本的な知識と最新情報」～保健指導に生かせる包括的な危険因子管理の重要性～	研修①	慶應義塾大学 医学部 衛生学 公衆衛生学	教授	岡村 智教
	「不活動を減らそう」～座りすぎの健康リスクとその是正策～	研修②	早稲田大学 スポーツ科学学術院	教授	岡 浩一郎

平成30年度 未受診者対策(特定健診受診勧奨) 電話による受診勧奨記録票

(保険者名)

NO

月—

ふりがな			生年月日		年齢	性別	
氏名			昭和 年 月 日		歳	男	女
住所			電話				
電話連絡日時	月 日 時 分	□通話(本人) □通(本人以外) □コールあるも出ず □番号誤り等 □拒否等					サイン
電話連絡日時	月 日 時 分	□通話(本人) □通(本人以外) □コールあるも出ず □番号誤り等 □拒否等					サイン
電話連絡日時	月 日 時 分	□通話(本人) □通(本人以外) □コールあるも出ず □番号誤り等 □拒否等					サイン
H25～29年度 特定健診受診の有無		H25	H26	H27	H28	H29	

今年度特定健診の受診予定等

1 () すでに特定健診(または保険者補助の人間ドック)を受けた	月	(機関名)
2 () 特定健診(保険者補助の人間ドック)を受ける予定	月	(機関名)
3 () 個人で人間ドックもしくは健診を受ける予定	月	(機関名)
4 () 何も考えていない(関心が薄い)		
5 () 今年度特定健診を受けるつもりはない		
理由 () 治療中だから () その他具体的に () 職場健診を受ける(た)から		

〇〇年度特定健診の未受診理由(複数回答可)

1 () 特に自覚症状もなく健康だから	10 () タイミングを逃した
2 () 時間がない、忙しいから	11 () 昨年受診したから
3 () 個人で人間ドック等健診を受けた	12 () その他
4 () 個人で医療機関にかかっているから(治療中)	
・生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症)	
・上記以外()	
5 () 面倒だから	
6 () 費用がかかるから	
7 () どのように受診してよいかわからない	
8 () 健診を知らなかったから(案内文等を見ていない)	
9 () 結果が不安だから	13 () 聞けず

保険者への意見(「特定健診の受診率向上に向けた意見」など)

1 () 受診券の送付時期をもう少し早くする	受診可能時期を拡大
2 () 広報(機関紙)等でもっと健診をPRする	広報活動
3 () 健診を受けられる医療機関を増やす	選択肢の拡大
4 () 集団健診を充実させる(土日・夜間の健診開催、予約方法の簡素化等)	ニーズへの対応
5 () 健診を受けることによるメリット(疾病予防等)の情報発信を積極的にする	啓発活動
6 () その他()	
7 () 聞けず	8 () 意見なし
保険者・国保連合会への申し送り事項	保険者への連絡状況 誰から() ⇒ 誰に()
記録者サイン	

平成30年度特定健診受診者のフォローアップ事業（受療勧奨判定値を超えている者への対策）記録票

（ 保 険 者 名 ）

No. 3 月 —

ふりがな 氏名						生年月日	年度末年齢	喫煙	性別		
住所							電話	0 0			
健診年月日	身長	体重	収縮期 血圧	拡張期 血圧	空腹時 血糖	HbA1c	中性脂肪	HDLコレ ステロール	LDLコレ ステロール	e-GFR	血清 クレアチニン
医療機関名	BMI	腹囲	尿たんぱく	尿糖	γ-GTP	GOT	GPT	尿酸		たばこ	服薬状況

電話連絡日時	月 日 時 分	☐通話（本人・本人以外） ☐コールあるも出ず ☐本人不在 ☐番号誤り ☐拒否等	サイン
電話連絡日時	月 日 時 分	☐通話（本人・本人以外） ☐コールあるも出ず ☐本人不在 ☐番号誤り ☐拒否等	サイン
電話連絡日時	月 日 時 分	☐通話（本人・本人以外） ☐コールあるも出ず ☐本人不在 ☐番号誤り ☐拒否等	サイン
電話連絡日時	月 日 時 分	☐通話（本人・本人以外） ☐コールあるも出ず ☐本人不在 ☐番号誤り ☐拒否等	サイン

特定健診について結果説明の有無

☐説明は受けていない ☐説明を受けた ⇒ どこで、どのように（	）
------------------------------------	---

既往歴

高血圧症	初めて指摘された年齢（ 歳）	きっかけ ☐健診 ☐自覚症状あり受診 ☐その他（	）
糖尿病	初めて指摘された年齢（ 歳）	きっかけ ☐健診 ☐自覚症状あり受診 ☐その他（	）
	初めて指摘された年齢（ 歳）	きっかけ ☐健診 ☐自覚症状あり受診 ☐その他（	）
	初めて指摘された年齢（ 歳）	きっかけ ☐健診 ☐自覚症状あり受診 ☐その他（	）
	初めて指摘された年齢（ 歳）	きっかけ ☐健診 ☐自覚症状あり受診 ☐その他（	）

現在の受診状況

※服薬指示通り以外とは服用忘れや自己中断等、健診後受診無とは健診で受診勧奨されたが受診していないこと

高血圧	☐服薬有（指示通り・指示通り以外） ☐ 医師の管理下で経過観察 ☐受診終了 ☐ 健診後受診無 主治医の説明内容（	）
糖尿病	☐服薬有（指示通り・指示通り以外） ☐ 医師の管理下で経過観察 ☐受診終了 ☐ 健診後受診無 主治医の説明内容（	）
脂質異常	☐服薬有（指示通り・指示通り以外） ☐ 医師の管理下で経過観察 ☐受診終了 ☐ 健診後受診無 主治医の説明内容（	）
	☐服薬有（指示通り・指示通り以外） ☐ 医師の管理下で経過観察 ☐受診終了 ☐ 健診後受診無 主治医の説明内容（	）
	☐服薬有（指示通り・指示通り以外） ☐ 医師の管理下で経過観察 ☐受診終了 ☐ 健診後受診無 主治医の説明内容（	）
	☐服薬有（指示通り・指示通り以外） ☐ 医師の管理下で経過観察 ☐受診終了 ☐ 健診後受診無 主治医の説明内容（	）

その他

血圧測定の有無	☐ 家庭血圧測定有	あり ・ なし
お薬手帳の有無	☐ お薬手帳	あり ・ なし ☐ お薬手帳の活用 あり ・ なし

◆ 保健指導内容

[illegible]

◆ 禁煙支援内容（「喫煙あり」のみ対象）

◎現在、習慣的にたばこを吸っている	<input type="checkbox"/> はい（	本/日	歳から）	<input type="checkbox"/> いいえ
①禁煙に関するステージ				
<input type="checkbox"/> 直ち（1か月以内）に禁煙したいと思っている	<input type="checkbox"/> 既に改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 禁煙するつもりはない		
②短時間支援	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし		
③禁煙外来（情報）紹介	<input type="checkbox"/> あり（医療機関名			<input type="checkbox"/> なし

◆ 大阪府国民保険団体連合会への申し送り事項

--

◆ 大阪府国民保険団体連合会から保険者への連絡

連絡日時	平成 年 月 日()	連絡者	国保連() ⇒ 保険者()

平成30年度 非肥満血圧高値者、血糖高値者受診勧奨推進事業 記録票

(保 険 者 名)

No.

3 月 —

基礎 情報	氏名		性別		生年月日	(年齢)							
	住所				電話								
特定 健診 情報	受診日												
	血圧												
	血糖	糖尿病治療											
1回目	実施日	H	年	月	日	時	分	手段	電話	対応者			
	□ 血圧	受診あり	服薬あり・継続受診(経過観察)・受診終了(終診) ⇒受診継続支援										
		受診なし	受診予定あり・受診予定なし ⇒受診勧奨 2回目必要										
	□ 血糖	受診あり	服薬あり・継続受診(経過観察)・受診終了(終診) ⇒受診継続支援										
		受診なし	受診予定あり・受診予定なし ⇒受診勧奨 2回目必要										
	記録												
		実施日	H	年	月	日	時	分	手段	電話	対応者		
		□ 血圧	受診あり	服薬あり・継続受診(経過観察)・受診終了(終診) ⇒受診継続支援									
			受診なし	受診予定あり・受診予定なし ⇒受診勧奨 2回目必要									
		□ 血糖	受診あり	服薬あり・継続受診(経過観察)・受診終了(終診) ⇒受診継続支援									
受診なし			受診予定あり・受診予定なし ⇒受診勧奨										
記録													

健診年月日	身長	体重	収縮期 血圧	拡張期 血圧	血液 検査	空腹時 血糖	HbA1c	中性脂肪	HDLコレ ステロール	LDLコレ ステロール	γ-GTP
医療機関名	BMI	腹囲	尿たんぱく	尿糖		GOT	GPT	備考	たばこ	服薬状況	
抽出理由											
電話連絡日時	H	年	月	日	時	分	<input type="checkbox"/> 本人不在 <input type="checkbox"/> コールあるも出ず <input type="checkbox"/> 番号誤り <input type="checkbox"/> 拒否等				サイン
電話連絡日時	H	年	月	日	時	分	<input type="checkbox"/> 本人不在 <input type="checkbox"/> コールあるも出ず <input type="checkbox"/> 番号誤り <input type="checkbox"/> 拒否等				サイン
電話連絡日時	H	年	月	日	時	分	<input type="checkbox"/> 本人不在 <input type="checkbox"/> コールあるも出ず <input type="checkbox"/> 番号誤り <input type="checkbox"/> 拒否等				サイン
電話連絡日時	H	年	月	日	時	分	<input type="checkbox"/> 本人不在 <input type="checkbox"/> コールあるも出ず <input type="checkbox"/> 番号誤り <input type="checkbox"/> 拒否等				サイン

◆ 禁煙支援内容（「喫煙あり」のみ対象）

◎現在、習慣的にたばこを吸っている	
①禁煙に関するステージ	
<input type="checkbox"/> 直ち(1か月以内)に禁煙したいと思っている <input type="checkbox"/> 既に改善に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 禁煙するつもりはない	
②短時間支援	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
③禁煙外来(情報)紹介	<input type="checkbox"/> あり（医療機関名 _____） <input type="checkbox"/> なし

◆ 大阪府国民健康保険団体連合会担当者への申し送り事項

記録者サイン

◆ 大阪府国民健康保険団体連合会担当者から保険者担当者への連絡事項

連絡日時	平成 年 月 日 () :	連絡者	国保連() ⇒ 保険者()